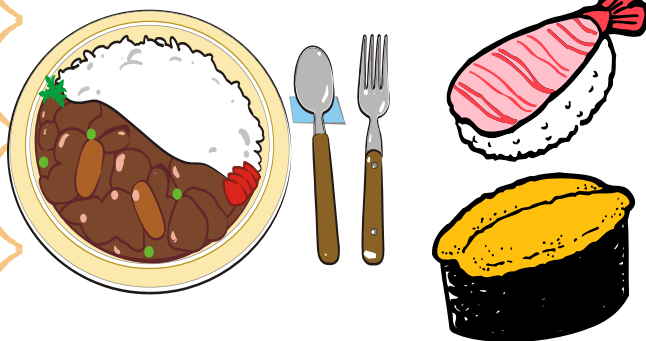




昔の米作りの道具

これは、ぼくたちが昔の道具「わく」で、田んぼ
にあとを付けてるところです。



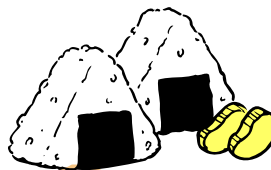
昔の米作りの道具

千歯

歯に稲穂をひっか
け、もみをしごき落
とす道具。

唐箕

もみがらやゴミ
を風力でとり
のぞく道具。



現在の米作りの機械

トラクター

- **田植機**
 その名のとおり「田植えをするときに使う機械」です。日本の田植えは、水田に稲の苗を1列に植えるのですが、この苗の列を8~10列もいっぺんに植えることのできる大型の田植機もあります。
- トラクターは、おもに重いものを引っ張ったり運んだり、あるいは後ろの方にとくしゅな道具をつけて、それで田んぼや畑をたがやしたりするのに使います。エンジンの力をトラクターの後ろの部品からとりだすことができるようになっているので、いろんな道具を付け替えることで、いろんな仕事ができるようになっている。

現在の米作りの機械

- ・コンバイン(大型)
- ・バインダー(小型)
- ・耕うん機
- ・草かり機
- ・乾燥機
- ・はしゅ機 など